令和８年度埼玉県・クイーンズランド州スカラシップ報告レポート

阿部史織

1. はじめに

私は令和８年７月２１日（火）から８月５日（水）までの１６日間にわたり、オーストラリアクイーンズランド州でのこのプログラムに参加してきました。このプログラムでは、平日の日中は州立イェロンガ高校に通い、放課後や週末はホストファミリーと過ごします。アクティビティや遠足が多くとても充実した２週間となりました。常にサポートしてくださった埼玉県国際課の方々、温かく迎え入れてくれたホストファミリーの皆さん、２週間一緒に過ごした学校のバディーたち・他の奨学生などここまで支えてくださったすべての方に感謝申し上げます。

このレポートでは、私が２週間体験したことや埼玉県親善大使として活動したことを紹介していきたいと思います。

2. 州立イェロンガ高校について

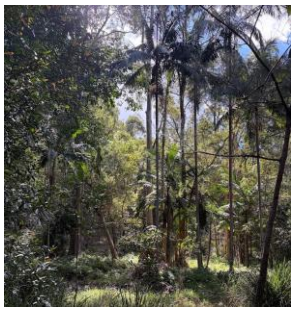
ブリスベンの都市部からバスで２０分ほどの場所にある Yeronga State High School に毎日通いました。まず驚いたのが、通う生徒の多様性です。オーストラリア全体が多文化・多民族国家と言われていますが、この学校の半分以上の生徒が英語圏以外のルーツを持ち、歩いているだけでも様々な国籍・宗教の生徒が通っていることがわかります。

授業は１コマ７０分で１日４時間授業です。そのため、毎日３時には学校を出ることができます。科目選択は Year７（中学１年生）から始まり、バディーの高校１年生は、自分が本当に学びたい授業のみを選択している様子が印象的でした。

3. 遠足について

学校の先生が多くの遠足を計画してくださり、ブリスベン周辺の様々な場所を訪れることができました。以下が、行った場所の一覧です。

日付	行った場所	内容	写真
Day２	Lone Pine Koala Sanctuary	コアラをなでたりカンガルーに餌をやったりしました。鳥や羊飼い犬のショーなどもとても面白かったです。	

Day6	Bunyaville Environmental Educational Center	オーストラリアの自然について学び、植樹体験や、魚の観察などを行いました。	
Day１０	South Bank	観覧車に乗り、GOMA（美術館）の鑑賞を行いました。夜には、アボリジニの女性のショーを見ました。	
Day１１	Dream World	バディーやホストファミリーと一緒に遊園地に行きました。	
Day１３	Mt. Cootha	展望台に行き、アイスを食べ、美しい景色を楽しみました。	

特に印象に残っているのは、６日目の Bunyaville Environmental Educational Center です。アボリジニの人が作っていた Johnny cake を作ったり、アボリジニの人が遊んでいた自然と触れ合うゲームで遊んだりと、アボリジニの考え方や文化が根付いていることを身をもって体験できました。日本では、聞いたことのない鳥の鳴き声も聞こえ、とても自然が豊かな場所だと感じました。

ここまで多くの遠足を企画してくださった学校の先生に感謝申し上げます。

4. ホストファミリーについて

私のホストファミリーはお母さん、お父さん、１６歳のシスター、１７歳のブラザー、２匹の猫がいる家族でした。子供は２人ともバイトしており、家族全員がそろう機会は少なかったのですが、とても優しく接してくださいました。

特に、お母さんの友達が多く、お母さんの友達が家に遊びに来たり、近所の人と卓球や

バレーボールを楽しんだり、休日に友達の家に出かけたりと様々な人と出会い話すことができました。出会った多くの人が日本を訪れたことがあり、簡単な日本語であいさつをしてくださりました。

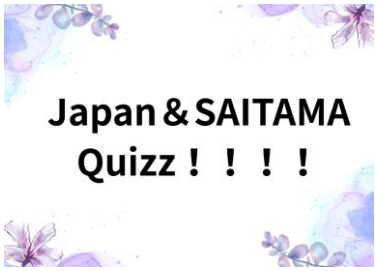
5. 埼玉親善大使としての活動について

日本語の授業を１時間いただき、他の奨学生と共に埼玉県や日本について伝えるワークショップを開催しました。私は書道体験を担当したのですが、初めての書道に興奮している生徒が多く、どの生徒も笑顔で楽しそうに体験している姿が印象的でした。

また、埼玉県に関するクイズを作成し、ホストファミリーやその友達、学校のバディーに答えてもらいました。毎回とても盛り上がり、楽しかったです。ワークショップでのプレゼンテーションもこのクイズが基となって、内容が作られています。

さらに、留学期間中はインスタグラム（s.oripii_in_qld）にて、その日に行ったことや学んだことについて毎日発信しました。

お土産には、狭山茶飴、狭山茶味の紅茶、狭山茶ふりかけ、せんべい、インスタントみそ汁を持参し、バディーやホストファミリーの方に配りました。インスタントみそ汁をホストファミリーと食べたときには、飲み物用のコップに入れられて出され、しょうゆをかけていたことに驚きました。



埼玉県に関するクイズ


書道体験の様子


みそ汁

6. 発見した日本との違い

オーストラリアで生活していて感じた日本との違いを２つ紹介したいと思います。

① 授業風景について

バディーと一緒に、通常の授業に参加したのですが、授業の雰囲気の違いに驚きました。席がすべて自由席で、先生の話を聞いている人は少なく、ずっと友達と話したりゲームをしたりしていました。とても賑やかな雰囲気でしたが、寝ている人は一人もおらず、クラス全体としての授業への理解度は日本よりも高いように感じました。

② ジョークについて

先生や見知らぬ人もジョークを言うので、本当なのかジョークなのかの区別が難しかっ

たです。何度も騙されるうちに、だんだんとジョークを見破れるようになってきて、楽しかったです。

7. おわりに

ホストファミリーの方や、学校の先生、バディーの方々のおかげで、とても充実した学びの多い２週間を過ごすことができました。改めて、このプログラムに関わってくださったすべての方にお礼申し上げます。

この経験で得た学びを今後に活かしていきたいと思います。